【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年10月27日(2023.10.27)

【国際公開番号】WO2023/095640
【出願番号】特願2023-521416(P2023-521416)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　8/04(2006.01)
Ｃ０８Ｌ 61/06(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/17(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　8/04
Ｃ０８Ｌ 61/06
Ｃ０８Ｋ　5/17
Ｃ０８Ｊ　5/04

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月6日(2023.4.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
有機繊維基材に含浸または塗布するために用いられる液状のフェノール樹脂組成物であって、
当該フェノール樹脂組成物は、出発物質であるフェノール類とアルデヒド類とを、［アルデヒド類］／［フェノール類］のモル比が０．８以上３．０以下である条件で、塩基性触媒の存在下で反応させてレゾール型フェノール樹脂を得る工程と、
前記レゾール型フェノール樹脂に、前記出発物質であるフェノール類１モルに対して、０．１モル以上１．０モル未満の量のグリシンを添加して、フェノール樹脂組成物を得る工程と、により得られる、
フェノール樹脂組成物。
【請求項２】
前記有機繊維基材は、天然繊維基材、または有機合成繊維基材、あるいはこれらの組み合わせである、請求項１に記載のフェノール樹脂組成物。
【請求項３】
有機繊維基材と、前記有機繊維基材に含浸または塗布された請求項１または２に記載のフェノール樹脂組成物と、を含む物品。
【請求項４】
織布基材に含浸または塗布するために用いられる液状のフェノール樹脂組成物であって、
前記織布基材の通気度は、２５０ｃｍ^3／ｃｍ^2／ｓ以下であり、
当該フェノール樹脂組成物は、
出発物質であるフェノール類とアルデヒド類とを、［アルデヒド類］／［フェノール類］のモル比が０．８以上２．４以下である条件で、塩基性触媒の存在下で反応させてレゾール型フェノール樹脂を得る工程と、
前記レゾール型フェノール樹脂に、前記出発物質であるフェノール類１モルに対して、

０．１モル以上１．０モル未満の量のグリシンを添加して、フェノール樹脂組成物を得る工程と、により得られる、フェノール樹脂組成物。
【請求項５】
前記織布基材は、ガラス繊維、金属繊維、またはセラミック繊維である、請求項４に記載のフェノール樹脂組成物。
【請求項６】
織布基材と、前記織布基材に含浸または塗布された請求項４または５に記載のフェノール樹脂組成物と、を含む物品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明によれば、
有機繊維基材に含浸または塗布するために用いられる液状のフェノール樹脂組成物であって、
当該フェノール樹脂組成物は、
出発物質であるフェノール類とアルデヒド類とを、［アルデヒド類］／［フェノール類］のモル比が０．８以上３．０以下である条件で、塩基性触媒の存在下で反応させてレゾール型フェノール樹脂を得る工程と、
前記レゾール型フェノール樹脂に、前記出発物質であるフェノール類１モルに対して、０．１モル以上１．０モル未満の量のグリシンを添加して、フェノール樹脂組成物を得る工程と、により得られる、フェノール樹脂組成物が提供される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また本発明によれば、
織布基材に含浸または塗布するために用いられる液状のフェノール樹脂組成物であって、
前記繊維基材の通気度は、２５０ｃｍ^{3}／ｃｍ^{2}／ｓ以下であり、
当該フェノール樹脂組成物は、
出発物質であるフェノール類とアルデヒド類とを、［アルデヒド類］／［フェノール類］のモル比が０．８以上２．４以下である条件で、塩基性触媒の存在下で反応させてレゾール型フェノール樹脂を得る工程と、
前記レゾール型フェノール樹脂に、前記出発物質であるフェノール類１モルに対して、０．１モル以上１．０モル未満の量のグリシンを添加して、フェノール樹脂組成物を得る工程と、により得られる、フェノール樹脂組成物が提供される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
以上、本発明の実施形態について述べたが、これらは本発明の例示であり、上記以外の様々な構成を採用することもできる。
以下、実施形態の例を付記する。

１．　有機繊維基材に含浸または塗布するために用いられる液状のフェノール樹脂組成物であって、
　当該フェノール樹脂組成物は、
　出発物質であるフェノール類とアルデヒド類とを、［アルデヒド類］／［フェノール類］のモル比が０．８以上３．０以下である条件で、塩基性触媒の存在下で反応させてレゾール型フェノール樹脂を得る工程と、
　前記レゾール型フェノール樹脂に、前記出発物質であるフェノール類１モルに対して、０．０１モル以上１．０モル未満の量のグリシンを添加して、フェノール樹脂組成物を得る工程と、により得られる、フェノール樹脂組成物。
２．　前記有機繊維基材は、天然繊維基材、または有機合成繊維基材、あるいはこれらの組み合わせである、１．に記載のフェノール樹脂組成物。
３．　有機繊維基材と、前記有機繊維基材に含浸または塗布された1.または２．に記載のフェノール樹脂組成物と、を含む物品。
４．　織布基材に含浸または塗布するために用いられる液状のフェノール樹脂組成物であって、
　前記織布基材の通気度は、２５０ｃｍ^{3}／ｃｍ^{2}／ｓ以下であり、
　当該フェノール樹脂組成物は、
　出発物質であるフェノール類とアルデヒド類とを、［アルデヒド類］／［フェノール類］のモル比が０．８以上３．０以下である条件で、塩基性触媒の存在下で反応させてレゾール型フェノール樹脂を得る工程と、
　前記レゾール型フェノール樹脂に、前記出発物質であるフェノール類１モルに対して、０．０１モル以上１．０モル未満の量のグリシンを添加して、フェノール樹脂組成物を得る工程と、により得られる、フェノール樹脂組成物。
５．　前記織布基材は、ガラス繊維、金属繊維、またはセラミック繊維である、４．に記載のフェノール樹脂組成物。
６．　織布基材と、前記織布基材に含浸または塗布された４．または５．に記載のフェノール樹脂組成物と、を含む物品。